

第 12 回 天塩川上流減災対策協議会

今後 5 か年で実施する取組予定

令和 8 年 2 月 25 日

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V	・流下能力が不足する美深地区等で河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施	①流下能力が不足する地区を中心に河道掘削、堤防整備、構造物改築等を実施する予定						
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	・氾濫リスクの高い区間において、粘り強い堤防(堤防天端の舗装、堤防法尻の補強)の整備を実施。	-						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A	・危機管理型水位計の水位情報や簡易型河川監視カメラ画像を確認出来る「川の水位情報」を提供 ・直轄河川の上流から下流まで連続的に、洪水危険度を把握・表示する「水害リスクライン」を提供	①河川情報の発信、伝達の向上を図るため、河川情報提供システムは今後も改良予定						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	・洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」を設置 ・多くの画像情報を取得し住民に提供することで、適切な避難判断を促すことを目的に「簡易型河川監視カメラ」を設置	①継続した観測機器の運用・保守、必要に応じた設置や移設を実施予定						
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	・洪水に備え水防資材の調達を実施 ・水防拠点の整備に向けた設計、地元調整等を実施	①継続して実施予定						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・流域全市町村におけるタイムライン(簡易版)作成 ・タイムラインの実践やタイムラインを用いた研修等において精度向上を図る	①継続した避難勧告型タイムラインの周知や運用を行い、必要に応じて見直しを行うなど精度向上を図る						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	・避難の切迫性が確実に伝わるよう主文の改良を実施 ・氾濫発生情報発表時の浸水の恐れがある地域表示を想定最大規模の洪水を対象とした範囲まで拡大 ・警戒レベルの採用や読み仮名を付けるなど洪水予報文を改良	①情報の明確化を図るため、必要に応じた洪水予報文の改良を行う予定						
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・緊急速報メールによる洪水予報(氾濫危険情報・氾濫発生情報発表時)の伝達							

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・天塩川、名寄川、風連別川、剣淵川の洪水浸水想定区域図等の作成・公表 ・サンルダム完成を踏まえた見直しを実施	①必要に応じて見直しを予定						
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・ハザードマップ等作成のための支援として浸水想定区域図等のデータや資料を随時提供	①必要に応じて見直しを予定						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まらごとまらごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・周知や利活用の促進を図るため、ハザードマップポータルサイトや地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)へ洪水浸水想定区域等データを登録	①ハザードマップの活用促進に向けて事例提供等の支援を実施予定						
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・モデル校である名寄市立中名寄小学校において、作成した指導計画に基づく防災授業を実施。 ・指導計画について、協議会内で共有。	①自治体からの意見を集約し防災教育素材を整理予定 ②小中学校で活用しやすいようにHP等で素材を共有予定						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水防研修会を各自治体で実施 ・名寄市内において排水ポンプ車、照明車及び排水ポンプパッケージを使用した内水排除訓練を実施	①勉強会、研修会等を実施予定 ②排水ポンプ車の設置訓練などを実施予定						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・カヌーイベントにおいて参加者向けの広報活動を実施 ・ダム見学会の継続実施 ・地域政策懇談会等においてダムに関する広報活動を実施 ・消防団水防活動実績のHP公開	①イベント、HP等を活用した広報活動を実施予定						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	G、J	・対象外となっている地区の図面を作成し、自治体に提供	①対象外となっている地区の情報提供及び確認作業の支援を実施予定 ②検討に際しては支援を実施予定						
		⑧視覚的・体感的な情報ツール等(プロジェクションマッピング等)を用いた、主体的な避難行動に資する情報の提供	F、N	-	①イベント、防災訓練等を活用し実施する予定						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・重要水防箇所等の共同点検を実施	①関係機関と共同点検を実施予定						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域における自治体及び関係機関を対象とした豪雨災害対策職員研修のサポートを実施(主催の名寄市より依頼)	①豪雨災害対策職員研修などの支援を実施予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)等において定期的に情報共有を行う	①減災対策協議会等で情報共有を行う予定						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・減災対策協議会(旧水防連絡協議会)において周知を図った	①減災対策協議会等で周知する予定						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・浸水想定区域公共施設合図(水位観測所、警察、病院、避難所等)を自治体に提供 ・早期に避難が必要な区域の抽出及び避難時の課題抽出	①必要に応じて提供情報の更新を実施予定						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会(旧水防連絡協議会)にて説明を実施	①減災対策協議会等で出動要請方法等を説明予定						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車及び、排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を災害協定業者に対し実施	①操作訓練を実施予定						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・湛水時間24時間以上となる箇所全てを抽出し、天塩川上流排水計画ハンドブック及び天塩川上流域・ポンプ式進入ルート図(水系全体)作成(R2.3完成)	①排水作業準備計画の更新を実施、各関係機関に提供予定						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A		大雨浸水・洪水のキキクルなど防災気象情報をスマートフォンやホームページを活用したリアルタイム情報の提供を引き続き行う。また、情報の改善を行う。						
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D									
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B									
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N		洪水予報伝文等の改良を引き続き行う。							
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K									
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K									
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J									

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	学校安全推進会等において教職員向けに講演及び一日防災学校等において小中学生を対象に講演等を実施する。	関係機関と協力し一日防災学校等の防災教育を継続して実施する。							
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関・自治体主催する防災訓練、防災教室等において講演等を実施する。	関係機関と協力し防災訓練等を継続して対応する。							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	防災フェア・コミュニティFM・気象庁HPをとおして気象防災普及啓発を進める。	防災フェア・コミュニティFM・気象庁ホームページ等により気象防災に関する普及啓発を引き続き実施する。							
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップを実施する。	市町村職員向けに、研修会での講演や、中小河川の氾濫を想定した防災対応を考える気象防災ワークショップ等を継続して実施する。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会席上において気象災害事例等の情報提供を行なう。	気象災害等の情報提供を引き続き行う。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V	堤防整備、河道掘削、護岸、構造物改築、伐木を実施	引き続き実施する。						
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V	堤防の天端舗装を実施(計画区間は完了)	未定						
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M	洪水時の避難勧告等の発令判断に活用する簡易水位計の設置(R元年度で完了)	未定						
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q	迅速な水防活動を実施支援するため、水防資機材・水防拠点の整備	引き続き実施する。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・タイムラインを用いた研修や訓練への協力 ・タイムライン試行運用開始	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	(1)想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を作成。	未定						
	(2)想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
	(3) 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・温根別川等の想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図を関係市町村へ配布。	未定						
	(4)小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の企画・実施支援	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら、1日防災学校の企画・実施支援等に取り組む。						
	(5)関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・上川総合振興局防災訓練(風水害想定)を実施 ・各種研修会の開催 ・市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援	・引き続き、必要な訓練の実施の他、地域の要望等を踏まえながら、各種研修会の開催や、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
	(6)住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・必要に応じた関係機関との調整。	・引き続き、地域の要望等を踏まえながら、市町村等が実施する訓練・研修・講演会への支援に取り組む。						
	(7)ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・特になし	未定						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施。	・道管理区間における重要水防箇所等の点検・見直しを実施する。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・避難所運営ゲーム北海道版講師養成研修会の実施 ・災害ボランティア組織連携会議の実施を支援 ・市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援	引き続き、市町村職員を対象とした訓練・研修・講演会への支援等を実施						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	協議会において取りまとめた情報の共有を実施。	引き続き、本協議会を通じて情報共有を実施。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

北海道警察 旭川方面本部

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■情報伝達、避難計画等に関する事項												
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D									
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B'									
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N									
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K									
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K									
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K									
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J									

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J								
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J								
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学生を対象に防災講話を実施。	・小中学生を対象に防災講話を実施予定。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・水害が予想される地域の交番連絡協議会などで注意喚起を行う。	・町内会等に対して防災講話(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対してDIG訓練(水害含む)を実施予定。 ・町内会等に対して防災訓練(水害含む)を実施予定。						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・110番通報受理時における通訳を含めた三者通話システムを活用している。	・広報誌、イベントにおいて引き続き、啓発活動を実施予定。						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F								

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施。	・警察署毎に災害発生予想危険箇所の把握、職員への周知徹底を実施予定。						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・各自治体等が実施する防災訓練への参加。	・各自治体等が実施する防災訓練に参加予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持した。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	・警察署毎に市町村防災担当者と譲歩共有、連絡体制の保持する予定。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U								
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T								
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D								
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイトimeline作成のサポートを充実させる	B								
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K								
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K								
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K								
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J									
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J									
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。							
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施した。	①各機関が実施する防災訓練等への参加及び支援を実施予定。							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施した。	①自衛隊の災害派遣・装備品に関する事項について情報共有を実施予定。							
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F									

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P								
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・市町村が実施する防災訓練に参加した。	①市町村が実施する防災訓練に参加予定。						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をした。 ・本協議会で関係者との情報交換を実施した。	①警察署毎に市町村防災担当者と情報共有するとともに連絡体制の保持をする予定。 ②本協議会で関係者との情報交換を実施予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L								
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R								
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S								
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・本協議会で情報共有を実施。	・本協議会で情報共有を実施予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・関係機関が実施する訓練等に参加。	・関係機関が実施する訓練等に参加予定。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T								

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

士別市

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着眼したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告等判断・伝達マニュアルについてはH27年4月に作成済み ・R2年3月に修正をし、災害対策本部訓練で使用 ・水害対策タイムラインをH30年7月に策定し、逐次見直しを実施	・毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練等を実施 ・判断となる水位計等の追加に伴う見直しを実施						
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・自治会等に対する出前講座を通じてタイムラインの必要性について普及を図る。 合わせて作成スケジュールを作成						
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・地域防災計画に記載されている17施設のうち11カ所の施設について、避難確保計画策定	・避難訓練実施状況を確認し、洪水想定との訓練実施を促進 ・個別避難計画作成の推進						
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・避難行動要支援者名簿は作成済、毎年更新 ・個別計画はR2から地区作成	・引き続き個別計画の策定を推進 総合防災訓練で検証						
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町を含めた広域避難の必要性について担当者間での認識統一を図った。	・近隣市町との意見交換を実施 その後、具体的な広域避難について検討						
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・「しべつ暮らしナビ」(防災)を整備した。	・個別避難計画対象者すべてに戸別受信機の貸与を推奨 ・継続して市のアプリの活用を推進 ・SNSを活用した情報発信の推進						

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・H31年4月に想定最大規模のハザードマップを作成し全戸に配布した。(ホームページにも掲載)	・毎年記載事項を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・公共施設の在り方の見直しに伴い避難所の改廃を検討した。	・作成することによる効果と作成費用を検討し、まちごとハザードマップ等の作成を決定する。						
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・1日防災学校の参加促進 ・小学生の校外授業における出前講座の実施	・関係機関と連携し、計画的に出前講座を行う。						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・毎年テーマを設定した総合防災訓練を実施	・住民参加型の避難訓練を重視して継続的に実施						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・夏期の大雨などに備えて広報誌、SNSを活用して注意喚起	・引き続き広報誌、SNSに掲載						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握	・対象外となっている地区の水害リスクを把握し、避難判断マニュアルへの反映						

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年関係機関と共同で河川の重要水防箇所等の点検を実施	・毎年関係機関と共同で重要水防箇所等の点検を実施						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や豪雨災害対策職員研修に参加した。	・防災担当者を対象とする研修等に継続して参加						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策部会等で情報共有を図った。	・減災対策部会等で情報共有を図る。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防団の募集等を主に行っている消防署においてポスター掲示などの啓発を行った。	・引き続き消防署において啓発を行う。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・同上	・同上						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・新庁舎の非常用電源を屋上に設置し、浸水時における電力を確保した。	・拠点施設の浸水による施設機能の不全箇所及び機能回復日程を確認						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・排水ポンプ車の要請方法を確認した。	・減災対策部会などで、災害対策車の要請方法を確認						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・市内業者に管理委託をしている排水ポンプの職員操作訓練は未実施	・排水ポンプの職員操作訓練を実施						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水常襲箇所を把握し可搬型排水ポンプを購入した。	・内水被害常襲箇所の災害発生前の浸水対策及び排水作業準備計画の確認 ・ポンプ及び発電機の事前配置の検討						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

名寄市

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・H28.3.16 避難勧告等の発令に着目したタイムラインを作成。(H29.3.30改訂) ・タイムラインを用いた訓練や実際の対応等を踏まえた精度向上を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	・出前講座やセミナーなどとおして、タイムラインの作成、重要性について市民周知を実施。	①出前講座や防災セミナーなどのイベントの機会を通じてタイムラインの作成、必要性などを周知する。 ②町内会(自主防災組織)を通じて作成サポートできるような計画策定に向けて検討を進める。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において地域防災計画に記載。 ・避難確保計画の作成、避難訓練の実施について、対象となる全施設が作成・実施するよう周知を実施。	①地域防災計画に記載された全ての要配慮者利用施設において避難確保計画の早期策定を目指す。 ②避難確保計画の策定にあたり、継続した支援を実施予定。 ③要配慮者施設においての避難訓練の実施について支援を実施予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・R6年度から改めて着手し、着実に作成件数を増やしている。	①高齢者等の確実な避難計画作成のため、福祉部局等の関係者と連携を深めながら実施。 ②避難計画、個別計画の作成後、避難訓練を検討。 ・避難行動要支援者名簿を平常時に活用するため、名簿情報の更新を定期的に行う。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・北・北海道定住自立圏の構成自治体による協定により、広域避難に関する協議を実施。	①有効な広域避難について近隣自治体と意見交換を実施予定。 ②具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会での議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・登録制の情報伝達システムを紹介し、様々な媒体から情報収集できるよう市民に周知している。	①同報系防災行政無線の整備や、情報発信手段について検討を進める。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	①新たな浸水想定公表により、R4年度に更新。	①防災気象情報の体系整理もあることから、ガイドマップの更新を検討する。						
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップ作成事業を実施(標示避難所及び避難場所に看板を設置するとともに、市内幹線道路に避難方向や浸水深を標示した案内看板を設置)。	①まるごとまちごとハザードマップの設置は当初予定を完了したため、維持管理に努める。 ②新たな設置個所が必要か検討する。						
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・関係機関と連携し、小学生を対象とした防災教室を実施。 ・小学生、高校生に出前講座を実施。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。						
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、市民を対象とした防災セミナー及び防災訓練を実施。 ・関係機関と連携し、職員を対象とした災害図上訓練を実施。 ・市民を対象とした防災イベントを開催。	①出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。						
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	広報誌、ホームページに掲載。	①広報誌、ホームページに掲載予定。						
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①ハザードマップを更新を検討する。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施。	①毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川治水促進期成会の構成自治体職員等を対象とした豪雨災害対策職員研修会に参加。 ・市職員を対象とした災害対策本部訓練及び避難所開設・運営の訓練を実施。	①天塩川治水促進期成会での豪雨災害対策職員研修会を実施・参加予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施。 ・減災対策協議会等で情報共有を実施。 ・道北9市の担当者会議にて情報を共有。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策協議会等での情報共有を予定。						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施。	①重要施設の機能維持を検討し、具体的な対策を講じる予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策協議会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認。	①減災対策協議会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。	①河川管理者所有の排水ポンプについて関係機関と連携し、操作訓練などを実施予定。						
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水常襲箇所の状況を把握。	①内水常襲箇所の状況把握を実施予定。						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

和寒町

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	避難勧告型タイムラインについてはR2年に作成済み	河川管理者と連携を図り、タイムラインを検証していく。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	住民一人一人が取る防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成の意識向上のため、他市町村の取組を参考に実施						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・R2年度作成の想定最大規模ハザードマップ浸水想定区域内の要配慮者利用施設について、地域防災計画に今後記載し施設に避難確保計画策定等の確認をする。	R11年度までに全ての要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定(避難確保計画策定の支援を実施する)						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	高齢者の確実な避難計画作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施し、その後は避難計画を作成し、避難訓練等を検討						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K		有効な広域避難について近隣自治体と意見交換をし、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・住民に対し防災情報ラジオの普及に向けたPRを広報紙、HP、を用いて実施。 ・災害等の気象情報を防災無線で全町民に発信した。	引続き、災害への備えの啓発や防災情報発信を実施。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項											
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年度に住民に配布予定。	毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J		想定最大規模ハザードマップ作成されたことから、まるとまちごとハザードマップ導入の可否について検討。						
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について防災教育の素材等を学校に説明	関係機関と連携し、小中学生を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育及び、避難訓練について、防災教育の素材等を学校に説明し実施を検討						
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	関係機関と連携し、水防災に関する訓練・講習会実施や町補助制度による開催の呼びかけ	引き続き、関係機関と連携し、水防災に関する訓練・講習会実施や町補助制度による開催の呼びかけ						
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	広報誌、ホームページに掲載した。	広報誌、ホームページに掲載予定						
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	対象外となっている地区を把握し一部R2年度作成に反映した。	今後も、必要に応じハザードマップの更新を検討						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	河川管理部署が出水期前に水害リスクの高い箇所の点検や消防での水利点検を実施	引き続き、河川管理部署が出水期前に水害リスクの高い箇所の点検や消防での水利点検を実施						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	水防連絡協議会や、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図った	引き続き、減災対策協議会や、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加し、防災対応力向上を図る						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会で取りまとめた情報の共有を実施	引き続き、減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施	引き続き、広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	R2年度ハザードマップの更新を踏まえ、今後は拠点施設のリスクを把握し機能維持の検討する。	ハザードマップの更新を踏まえ、拠点施設のリスクを把握し機能維持の検討						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行った	引き続き水防連絡協議会や研修等において確認・共有を行う						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T		名寄河川事務所等と連携した内水排水訓練を検討						
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース)	7月～9月の台風時期に、発電機、水中ポンプ、ホースをリース会社から借り上げる。(過去の大雨被害状況から14組リース) ・効果的な排水を行う為の検討を実施。						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

剣淵町

項目事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組										
■洪水を河川内で安全に流す対策										
	<ul style="list-style-type: none"> ・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策										
	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備										
	①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
	②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
	③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについては令和元年度に作成済み。	①R8年度以降(必要に応じて)に見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	①R8年度から自治会や高齢者サロン等を対象に作成サポートを実施予定。						
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・洪水ハザードマップの更新を行い、避難場所等の見直しを行うとともに、必要に応じ近隣市町村と具体的な協議を実施した。	①該当となった要配慮者利用施設に、避難確保計画策定の支援を実施する。						
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	・対象外となっている地区を把握した。	①避難行動要支援者名簿の有効活用や高齢者に向けた避難訓練を実施予定。						
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する協定を締結した。	①R8年度は有効な広域避難について、近隣自治体と意見交換の実施を検討。 ②その後、具体的な広域避難について検討する予定。(検討方法、手法は、本協議会でも議論を踏まえる)						
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・デジタル式の防災無線を整備した。	①SNSを活用した情報発信を実施予定。 ②多言語化対応を検討予定。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、令和3年3月に住民に配布した。(ホームページにも掲載)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップ作成)	G、J	・まごまごハザードマップの作成を検討。	①R8年度以降、ハザードマップの説明会を実施予定。						
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小学校、教育委員会、町等が連携し、一日防災学校を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②R8年度は当協議会で作成する「防災教育」の素材を教育委員会に提供、説明を予定。						
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・自治会、社会福祉施設、町、気象台、名寄河川事務所等が連携し、水防研修会を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災セミナーを開催予定。						
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・広報紙、ホームページに掲載した。	①広報紙、ホームページに掲載予定。						
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	①R8年度以降(必要に応じて)に見直しを実施予定。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防(消防)団員等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施予定。						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川上流減災対策協議会や関係機関の研修会に参加した。	①天塩川上流減災対策協議会での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関の研修会に参加予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川上流減災対策協議会で取りまとめた情報の共有を実施した。	①天塩川上流減災対策協議会で取りまとめた情報を共有予定。						
	④広報紙やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報紙やホームページ、ポスターなどで募集。	①広報紙やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
	⑤広報紙やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報紙やホームページ、ポスターなどで水防(消防)団員を募集。	①広報紙やホームページ、ポスターなどで水防(消防)団員を募集予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	①令和2年度に更新した洪水ハザードマップを活用し、重要公共施設の機能維持に向けた具体的な対策を検討予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、出動要請方法等に関する確認を実施。	①水防連絡協議会や研修会等で、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・排水ポンプ車等による操作訓練を実施。	①河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車による操作訓練を実施予定。						
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所を選定した。	①内水被害常襲箇所の改善に向けた検討会議を予定。						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

下川町

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年4月に作成済み。 H29年10月などに訓練を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、出水期前に内容の確認を含め、訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	出前講座や町民向け防災イベント等によりサポートを継続						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N	-	-						
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	-	策定後の状況確認及び逐次更新を実施						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	福祉部門と避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の更新について再検討を実施	1年に一度を基準として名簿の更新を実施して個別計画に反映						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・近隣市町村と応援等に関する検討の実績はなし。	R8年度以降、近隣市町村と応援等に関する検討開始予定。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・ホームページ、ライン、地デジ広報を整備した。	情報伝達手段の維持・向上のための情報収集の実施						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J		R9に更新予定						
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まごまごハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J		・まごまごハザードマップの作成を検討。	Web版ハザードマップについて検討					
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A		・こども園と連携し、避難訓練時に防災関連の注意喚起を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②当協議会で作成する「防災教育」の素材や資料を教育委員会に提供予定。					
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R		・関係機関と連携し、防災講話を実施した。	①関係機関と連携し、計画的に出前講座を実施予定。 ②防災講話及び体験会を開催予定。 ③水害避難訓練を開催予定。					
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J		・役場内、消防署にポスターを掲示した。	R8年度以降についても、ポスター以外にも広報誌、ホームページで広報予定。					
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F		・現行(H29年改訂)のハザードマップから、開発局作成の「浸水想定図」と北海道作成の「洪水危険度氾濫区域」のデータの併用により、いわゆる「空白地」の対応を実施済み。	引き続き、次回の改定時にもデータ併用により対応したい。					

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	毎年出水期前に河川管理者と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関との勉強会に参加した。	天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修をはじめ、各種研修会に積極的に参加予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報の共有を実施した。 ・減災対策部会等で情報共有を実施した。	①天塩川流域圏会議(防災WG)で取りまとめた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報共有を予定。						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・広報誌やポスターなどで募集。	広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を依頼予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の水害リスクを踏まえ、機能維持の検討を実施した。	重要施設(役場庁舎)の機能維持を検討し、対応策を協議予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認した。	減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練未実施。	関係者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練を実施。						
	③内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・大雨後の出水場所確認などにより、内水常襲箇所を把握した。	・内水箇所の状況把握を継続 ・町所有の排水ポンプの操作訓練を実施						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

美深町

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH28年に作成済み。 ・毎年、防災訓練を実施。	①必要に応じて見直しを実施予定。 ②毎年、防災訓練を実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	住民による作成サポート計画を立案予定						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設において、今後地域防災計画に記載が必要な施設を確認した。 ・(地域防災計画の記載前ではあるが)一部の施設では、避難確保計画策定、避難訓練を実施した。	要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	-	引き続き避難行動要支援者名簿の作成を進める						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み(H26.2)	・「かみかわの絆19」～上川管内町村広域防災に関する決議～を締結済み(H26.2)						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリで視聴できるように整備した。	・緊急エリアメールを活用している。 ・全世帯にIP告知端末を配布し、同内容をスマホのアプリで視聴できるように整備した。						

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)	
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度		
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組												
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項												
		①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J									
		②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、H30年4月に関係機関及び町民の使用する施設に掲示した。(ホームページにも掲載)	・毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。							
		③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まるごとまちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・まるごとまちごとハザードマップの作成を検討。	・活用しやすいWEB版ハザードマップの検討							
		④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・水防訓練を小学校で実施	・水防訓練を小学校で行うよう検討。							
		⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・毎年、自治会単位で自主防災組織と町で協力して防災訓練を開催した。	・毎年、計画的に自治会単位で自主防災組織と町で協力して防災訓練を開催する予定							
		⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・ホームページや広報誌による広報を実施。	・ホームページや広報誌による広報を実施予定							
		⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・引き続き対象外となっている地区の把握に努める							

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同点検を継続実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川水系天塩川総合水防演習への参加 ・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加	・天塩川流域圏豪雨災害対策職員研修への参加予定						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・減災対策部会等で情報共有を実施した。	・減災対策部会等で情報共有を予定。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載。	・水防協力団体の募集を広報誌に掲載する。						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載	・消防団員が水防団員を担っているため、消防団員の募集を広報誌に掲載する						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成品情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討。	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成品情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認を実施。	・水防連絡協議会や研修会等に参加し、方法等に関する確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練を実施。	・名寄河川事務所との連携により排水ポンプユニットを用いた訓練実施を検討						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・H29年度に旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施。	・旭川開建で行う緊急排水計画(案)の検討と連携し、内水被害常襲箇所の把握、排水ポンプ設置箇所検討を実施予定。						

〇概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 河道掘削・河道内伐木 堤防整備(質的整備含む) 構造物改築 	V								
■危機管理型ハード対策											
		<ul style="list-style-type: none"> 堤防天端の保護 堤防裏法尻の補強 	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目	事項	内容	課題の 対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての 問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組											
■情報伝達、避難計画等に関する事項											
		①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH29年4月に作成済み。	①必要に応じて見直しを実施予定。						
		②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したマイタイムライン作成のサポートを充実させる	B'		①R8降に住民による作成サポート計画を立案予定。						
		③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
		④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・想定最大規模の浸水想定区域内の要配慮者利用施設を確認した。(5カ所)	①地域防災計画に位置づけた要配慮者利用施設において避難確保計画策定予定。						
		⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K		①災害時要援護者基本情報(高齢者等)作成のため、有効な手段の検討、関係者との調整を実施予定。						
		⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K	・広域避難計画に関する検討 ・「災害時における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討(継続中)。	①引き続き広域避難計画に関する検討 ②引き続き「災害時における北海道及び市町村相互の応援等に関する協定」に基づく相互応援について近隣市町村との協議検討。						
		⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・住民向け登録制災害メール等を整備した。	①LINE友達登録者数を増やす。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項										
	①想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表(多言語化対応含む)	F、J								
	②想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成し、R2年4月に住民に配布した。	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J	・想定最大規模のハザードマップを作成、周知済み(R元年度)	①毎年記載内容を確認し、必要に応じて更新を検討する。						
	④小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小中学校を対象とした地震の「シェイクアウト」への参加の推進や洪水等を踏まえた防災訓練を学校等と連携しながら検討。	①関係機関と連携し、引き続き実施に向け検討。						
	⑤関係機関及び、住民等を対象とした災害图上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・関係機関と連携し、水防研修会の実施(R1)や、他自治体主催の避難訓練に参加。	①関係機関と連携し、研修会を実施。 ②他自治体主催の防災関係催し等に参加。 ③水害避難訓練の実施を検討。						
	⑥住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J	・水防期間を中心にポスター等の掲示、住民回覧による啓発。	①引き続きポスター掲示、広報誌への掲載、住民回覧での周知を予定。						
	⑦ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象地域の洗い出し。	①影響のある地域については、ハザードマップを見直す際に対象地域に加える予定。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組										
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項										
	①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	Q、P	・毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の共同点検を実施した。	①引き続き、毎年出水期前に河川管理者や関係機関と重要水防箇所等の共同点検を実施予定。						
	②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加した。 ・関係機関主催の勉強会に参加した。	引き続き ①天塩川流域圏会議での豪雨災害対策職員研修に参加予定。 ②関係機関主催の勉強会に参加予定。						
	③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・水防連絡協議会や減災対策部会等において情報交換や情報共有を図った。	引き続き ①天塩川流域圏会議等で取りまられた情報を共有予定。 ②減災対策部会等で情報交換及び共有を予定。						
	④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	・ポスター掲示などで募集(消防団)周知を行った。	①引き続きポスター掲示などで募集(消防団)周知を予定。						
	⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・ポスターの掲示などで消防(水防)団員の募集を実施。	引き続きポスターの掲示などで消防(水防)団員の募集を実施予定。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項										
	①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・重要公共施設の機能維持のための電源確保等の効果的な対応の検討を実施した。	①重要施設(役場庁舎)の機能維持を検討し、具体的な対策を講じる予定。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組										
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組										
	①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の出動要請方法を確認した。	①引き続き減災対策部会などで、排水ポンプ車の出動要請方法を確認予定。						
	②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車の操作訓練を検討。	引き続き河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプ車の操作訓練を検討。						
	③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害箇所(注意箇所)の確認を合同巡視により実施し、釜揚げ場の現状について情報共有を図った。	①引き続き内水被害箇所(注意箇所)の確認を実施し、情報共有を図る。						

○概ね5年で実施する取組(天塩川上流)

中川町

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
1)ハード対策の主な取組											
■洪水を河川内で安全に流す対策											
		・河道掘削・河道内伐木 ・堤防整備(質的整備含む) ・構造物改築	V								
■危機管理型ハード対策											
		・堤防天端の保護 ・堤防裏法尻の補強	V								
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備											
		①住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を支援するため、スマートフォンを活用したリアルタイム情報の提供システム構築	A								
		②円滑な避難活動や水防活動を支援するため、簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	M								
		③迅速な水防活動に資するための水防拠点整備や、洪水の長期化に備えた水防資機材の整備について検討	Q								

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
2)大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組										
■情報伝達、避難計画等に関する事項										
	①円滑かつ迅速な避難行動のため、避難勧告等の発令に着目したタイムラインの作成及び精度向上を行う	B、C、D	・避難勧告型タイムラインについてはH28年4月作成(R5.1.20修正済) ・訓練については未実施	・必要に応じて見直しを実施予定 ・出水期前、中において内容の確認を含めて訓練を実施予定						
	②住民一人一人が取る標準的な防災行動を時系列的に整理したタイムライン作成のサポートを充実させる	B'	-	・防災訓練、防災講話を通じてタイムラインの必要性について普及を図る。						
	③わかりやすい洪水予報伝文への改良を行う	A、N								
	④避難行動要支援者の避難支援体制の構築及び避難訓練の実施(要配慮者利用施設)	K	・要援護者名簿を作成する福祉部署と連携した支援体制の構築確認を行った。	・引き続き避難行動要支援者の避難支援体制の確認・見直しを実施予定 ・避難訓練における実効性の確認						
	⑤高齢者の確実な避難計画の作成及び避難訓練の実施(避難行動要支援者名簿の作成、個別計画の作成など)	K	令和7年度において避難行動要支援者のうち優先度の高い一部の住民の個別避難計画を作成	・引き続き、個別避難計画の追加・更新を行う。 ・計画による有効性を避難訓練により確認する。						
	⑥想定最大規模の洪水を踏まえた避難方法・避難場所の見直しを実施するとともに、隣接市町村を含めた広域避難計画に関する検討を行う	G、H、K		・避難方法・避難場所の確認を実施予定。 ・有効な広域避難については今後近隣自治体の動向を踏まえながら意見交換を実施予定。具体的な広域避難についても今後検討する予定。						
	⑦SNS、防災ラジオ、緊急エリアメール、コミュニティーFM等の様々な情報伝達手段による情報発信を実施(手段の整備含む)(多言語化対応含む)	H、I、J	・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化する。	・TV電話(IP告知端末器)、エリアメール及び町HPによる情報発信を強化する。 多言語化については、今後検討する。						

項目事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況				
					令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
2) 大規模水害に対し、迅速・確実な避難行動のための取組									
■ 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項									
	① 想定最大規模も含めた浸水想定区域図、浸水シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の作成・公表 (多言語化対応含む)	F、J							
	② 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの作成と周知(多言語化対応含む)	G、J	・想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいた現行ハザードマップの普及・周知を行った。	・記載内容を毎年確認し、必要に応じて更新を検討する。 ・多言語化については今後検討を行う。					
	③ 想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域図に基づいたハザードマップの活用促進(多言語化、まちごとハザードマップ作成、3Dハザードマップの作成)	G、J							
	④ 小中学生を中心とした天塩川の洪水の特徴を踏まえた防災教育の実施(防災教育への積極的な関わり(防災教育素材の共有))	A	・小学校、教育委員会、町が連携して防災学校を実施した。	・名寄河川事務所、と連携し、小中学校を対象とした水防学習会や出前講座等による防災教育を定期的に実施予定。					
	⑤ 関係機関及び、住民等を対象とした災害図上訓練(DIG訓練)等、水防災に関する訓練・講習会の開催	A、E、R	・一部関係機関との訓練は実施し出来た。	・訓練要領などを検討し、軽易に実施できるよう工夫して実施予定					
	⑥ 住民・観光滞在者等の水防災意識啓発のための広報の充実(多言語化対応含む)	I、J		・IP告知、HP及びポスター掲示などによる方法を検討					
	⑦ ハザードマップ作製の対象外となっている地区の把握、対応検討	F	・対象外となっている地区を把握した。	・対象外となっている地区の住民を対象に説明会を実施予定。					

項目	事項	内容	課題の対応	R7までの取組状況	今後5か年の予定	進捗状況					その他(実施にあたっての問題点等)
						令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
3) 洪水氾濫被害軽減のための的確な水防活動に関する取組											
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項											
		①毎年、重要水防箇所の見直しを実施するとともに、関係機関・水防団等が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施	O、P	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。	・毎年出水期前に実施する重要水防箇所等の共同巡視を継続実施予定。						
		②市町村防災担当職員を対象とする防災対応力の向上を図る取り組みを行う	A	・水防連絡協議会や、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加	・減災対策協議会や、近隣自治体を実施する防災訓練、治水促進期成会による豪雨災害対策職員研修に参加						
		③流域市町村の防災担当者、水防資機材等の情報共有を行う	Q、U	・上川町村会事務局が主催する上川管内防災担当者会議において情報共有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に情報共有を行う。	・上川町村会事務局が主催する上川管内防災担当者会議において情報共有を行う。 ・水防連絡協議会等において定期的に情報共有を行う。						
		④広報誌やHP等により、水防協力団体の募集・指定の促進を図る	L	-	・広報誌やホームページ等で水防協力団体の募集を実施予定						
		⑤広報誌やHP等により、水防団員の拡充を図る	R	・中川消防支署との連携により広報誌やホームページ等で水防団員の募集を継続していく。	・中川消防支署との連携により広報誌やホームページ等で水防団員の募集を継続していく。						
■市町村庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に関する事項											
		①浸水想定区域内の拠点施設に対する水害リスクを把握し、機能維持に関する検討を実施	S	・旭川開建からの想定最大規模の洪水に係る浸水想定区域公共施設合成図情報等を踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。	・旭川開建より提供のデータを踏まえ、該当施設及び水害リスクを把握し、効果的な対応を検討する。						
4) 都市機能や社会経済活動の早期復旧のための取組											
■氾濫水の排水、施設運用等に関する取組											
		①排水ポンプ車等の災害対策車の出動要請方法等に関する確認	U	・水防連絡協議会や研修会等で方法等の確認を実施。	・減災対策部会などで、排水ポンプ車の要請方法を確認予定。						
		②迅速な氾濫水の排水を行う為、排水ポンプ車等の操作訓練を行う	T	-	・河川管理者と連携し、河川管理者所有の排水ポンプによる操作訓練の実施を検討。						
		③ 内水被害常襲箇所の把握と、効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所検討及び、釜場等の整備(排水作業準備計画の更新、点検の実施)	T	・内水被害常襲箇所の概定ができた。	・引き続き効果的な排水を行うための排水ポンプ設置箇所の検討を河川管理者と連携を検討						